

平成28年7月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,341	8,769	4,425	4,344	△ 3	△ 7
2 千 石	3,922	6,766	3,413	3,353	△ 18	△ 17
3 内 山	5,210	7,418	3,906	3,512	13	15
4 大 和	3,297	6,480	3,204	3,276	8	8
5 上 野	7,244	15,446	7,688	7,758	18	30
6 高 見	7,115	13,275	6,378	6,897	9	27
7 春 岡	6,682	10,782	5,679	5,103	△ 9	△ 1
8 田 代	11,406	21,749	10,456	11,293	△ 11	△ 15
9 東 山	10,204	19,305	9,522	9,783	△ 10	△ 31
10 見 付	4,515	8,420	4,267	4,153	△ 2	1
11 星ヶ丘	3,501	6,865	3,130	3,735	7	5
12 自由ヶ丘	3,553	7,323	3,348	3,975	5	9
13 富士見台	6,393	15,420	7,163	8,257	4	△ 1
14 宮 根	3,738	8,350	3,984	4,366	11	11
15 千代田橋	3,582	8,579	3,991	4,588	△ 2	△ 2
千 種 区 計	85,703	164,947	80,554	84,393	20	32
H27.7.1	83,398	164,144	79,997	84,147	32	△ 17
対 前 年 比	2,305	803	557	246	△ 12	49
名 古 屋 市	1,070,408	2,303,145	1,136,956	1,166,189	683	449
愛 知 県 (H28.6.1)	3,097,191	7,501,009	3,752,007	3,749,002	3,615	2,524

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	116	103	13	922	903	19

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和50年	168,861	平成7年	148,847	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537		
昭和60年	163,762	平成17年	153,132	これまでの最少人口	
平成2年	156,478	平成22年	160,015	146,727 (平成11年4月1日)	

注) 世帯数と人口は、平成27年国勢調査結果の本市独自集計速報値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。

名古屋市民の平均寿命

平成28年7月1日現在の千種区の世帯数は前月に比べ20世帯増の85,703世帯となっており、人口は前月に比べ32人増の164,947人となっています。

今回は、平成27年12月に公表された平成26年の名古屋市民の平均余命と平均寿命について全国と比較しながら見ていきます。

名古屋市では、毎年独自に平均余命を算出しています。平均余命とは、現在の死亡状況が今後変わらず続くと仮定した時に、ある年齢に達した人が、平均してその後何年生きられるかを表したものです。また、平均寿命とは0歳における平均余命のことをいいます。

平成26年の名古屋市の平均寿命は、男性が80.02年、女性が86.29年でした。前年と比較すると、男性は0.32年、女性は0.15年延びました。男女の平均寿命の差は6.27年で、前年より0.17年縮まっています。

また、平成26年の全国の平均寿命は、男性が80.50年、女性が86.83年でした。前年と比較すると、男性は0.29年、女性は0.22年延びました。男女の平均寿命の差は6.33年で、前年より0.07年縮まっています。

平成26年の名古屋市と全国の平均寿命を比較すると、男性は0.48年、女性は0.54年名古屋市が全国より短いことがわかります。

名古屋市では、昭和35年から平均寿命の算出を始めましたが、当時男性の平均寿命は67.08年、女性の平均寿命は71.06年でした。以来多少の変動はあるものの、男女とも上昇傾向にあります。(図1)

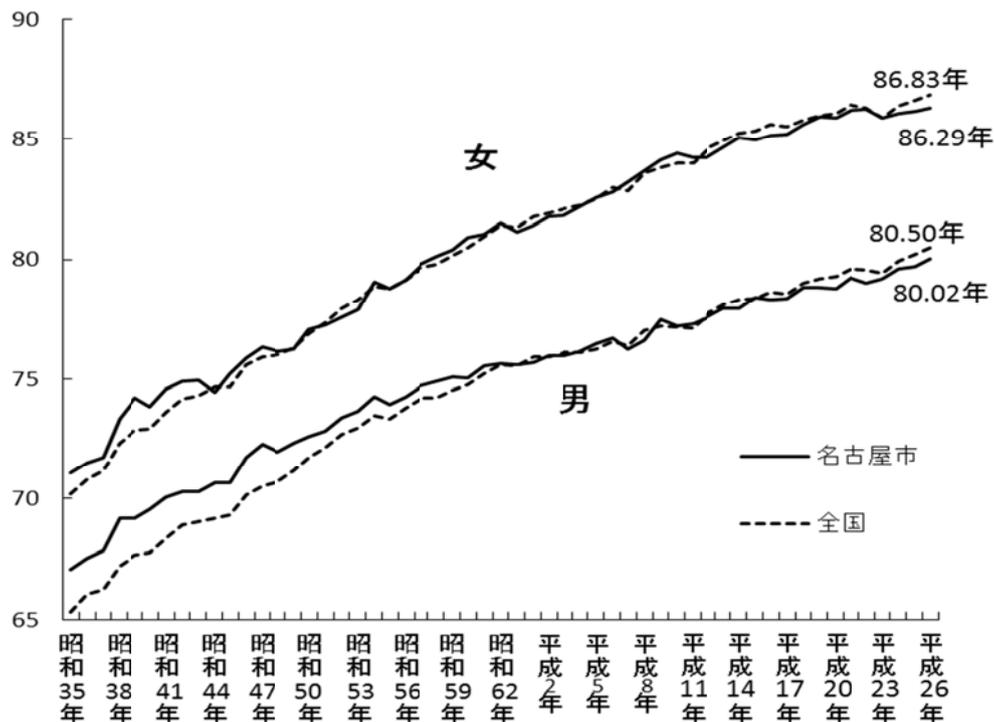


図1 平均寿命の年次推移